

みんな

よくなれ

令和四年七月二十八日発行

29回生通信
第6号

小さな変化

夏休みです。
夏休みはゆっくり寝坊をして、高校野球を見ながら気ままに昼寝をする。そんな贅沢な夏休みを過ごしたいものだなあ、と思います。

一方で、そんな生活をしていてはダメなんだ、とも思います。寝る時間と起きる時間、それに勉強を始める時間、これらを固定するのが三点固定でした。三点固定を守って規則正しい生活をしましょうと、繰り返して言われています。繰り返して言われるということは、実態として、それができていない人が多いということでもあります。そう考えると、規則正しく、勤勉な生活を送れる人は、案外、少ないということなのかもしれません。

さて、だらけがちな夏休みに小さな変化を起こしませんか。そんな提案をしたいと思えます。みなさんは、「風が吹けば桶屋が儲かる」という江戸時代に生まれたことわざを知っていますか。風が吹くと、砂ぼこりがたちます。その砂ぼこりが眼に入ると、失明する人が増えます。その人たちが三味線で生計を立てるために、三味線の胴に張る猫の皮の需要が増えます。その結果、町中の猫が減ります。猫が減ると、ネズミが増えます。増えたネズミが桶をかじるので、桶屋が儲かって、桶屋が喜ぶというものです。

「バタフライ・エフェクト」という言葉もあります。こちらは、アメリカの気象学者が、西暦一九七二年に発表した概念です。ブラジルで蝶が羽ばたきをします。その羽ばたきによって、小さな風が発生します。その風が巡り巡って、アメリカでのトルネード(台風)を引き起こすことになるというものです。

日本とアメリカ、江戸時代と現代、場所も時代も違いますが、少しの風が思いがけない結果をもたらすという点で共通しています。視点を変えます。ノーベル平和賞を受賞したマザーテレサの言葉です。「思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。」

引用が多くなって恐縮ですが、最後にアメリカの心理学者であるウィリアム・ジェイムズの言葉を紹介します。「心が変われば行動が変わり、行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。」みなさんも知っている言葉があったでしょう。最初の小さなスタートが、大きな変化につながるというお話ばかり集めました。この夏、小さな風を起こしてみませんか。

前期球技大会

七月十四日(木)十五日(金)の両日、前期球技大会が行われました。種目は、卓球とバレーとバドミントンでした。さすがに二・三年生の先輩方は強かったのですが、一年生も二クラスが三位表彰を受けました。

試合結果

卓球	優勝	二・四 B	二位	三・二	☆三位	一・一 A
バレー	優勝	三・一	二位	二・四	☆三位	一・三
バド	優勝	二・一 A	二位	三・四 A	三位	二・三 B

○卓球第三位 一年一組 A チーム責任者 菅原碧依

メンバー 石野結子 尾形京香 小林真紀子 矢村悠翔

菅原 碧依

初めての球技大会でした。卓球の一日目は、リーグ戦でみんなで作戦を練りました。試合を重ねていくうちにどんどん上達していき、全勝することができました。二日目は決勝トーナメントでした。くじ運がなく、シード権を引くことができませんでした。一番緊張したのは準決勝です。勝ちたい気持ちや先輩の圧で、いっそう緊張しましたが、クラスメイトや他の組の人たちが応援しに来てくれて、とても心強かったです。しかし、負けてしまい悔しかったです。三位決定戦の試合前に、みんな「絶対勝つ」と「表彰状もおこな！」など励ましあいながら試合に臨み、見事三位という結果を残せました。私はこの球技大会で団結する大切さを学びました。これからの学校生活にもつなげていきたいです。

○バレー第三位 一年三組 チーム責任者 小松暖

メンバー 猿川侑理 田路悠華 藤井悠成 古川桜羽

増田類 山本夏蓮

【FU - CHAN CLASS】

小松 暖

私たちが「FU - CHAN CLASS」は、この球技大会に、どのクラスにも負けない熱い思いがありました。それは一位、ただそれだけです。楽しんだもの勝ち？そんなこのクラスでは、アンパンマンカラーよりも甘い。例えるなら新タマネギ。そんな想いを胸に秘めて挑んだ初日。前日の会議で決められた選りすぐりの精鋭達もやや緊張しているようでしたが、バレー部の二人を中心にした強力なフォーメーションで見事全勝することができました。さすがこの日の、オレ達最強じゃね感が良くありませんでした。二日目の決勝トーナメント一戦目でボコボコにされてしまいました。このままでは BOSS に顔向けできない私達は、最後の二秒で勝つというドラマを作り三位になりました。次は、優勝します。

前期を振り返って

附属高校は前期後期制ですから、九月末までが前期です。ですから、タイトルの「前期を振り返って」は、少しフライング気味ではあります。しかし、「前期を振り返って」と言ってもかわらないくらい充実したこの四カ月でした。高校入学、自然教室、文化祭などと、大きな行事がありました。それに加えて、二回の定期考査を乗り越えました。部活動では、三年生が引退し、29回生が中心になっている部もありました。激動の四カ月を、各クラスの正副委員長に振り返ってもらおうと思います。

成長

1組 黒川 颯仁 くん
進藤 結以 さん

入学してから、早や四ヶ月が経ちました。月日が経つにつれて、クラスの仲間もだんだん良くなってきて和気あいあいとした生活を送っています。先日の前期球技大会では、各種目ごと、協力して挑むことができて、クラスの団結がより一層強くなったと思います。テストも盛りだくさんでしたが、分からないところはお互いに教えあったりしながら、理解を深めています。夏休みが始まり、前期の期間も少なくなっています。後期には、体育大会や二回目の球技大会などがあるので、前期と同様にいい思い出がつけられるように頑張っていきたいです。



四カ月を通して

2組 植田 賢斗 くん
谷口 祐亮 くん

この四ヶ月間のさまざまな行事を通して、一年二組は親睦を深めることができました。一年二組はテスト前も勉強に対する姿勢が良く、休み時間や授業が早く終わった数分に、課題をしている人もいます。また、楽しむときには楽しむということができ、メリハリがあるクラスで、いつもいい雰囲気です。蒜山自然教室では、いろいろなレクリエーションができました。球技大会では、失敗したときも、みんなの前向きな声をかけていて、本当によかったです。充実した二日間になりました。一年二組の皆さん、これからもよろしく！



一年三組

3組

小松 暖
東本 花
さん

一年三組、二十七人。信頼できるクラスを目標としています。三組で過ごした時間はまだ三か月少し。短い時間ですが、文化祭や球技大会などがあり密度の濃い時間でした。

文化祭では、目を惹く看板を作成する人、強い宣伝力で人を集めてくる人など、各々が自分の見せどころをつくりクラスに貢献してくれました。球技大会では、一心不乱に各競技に向き合い、言葉を交わさずとも心を繋いだ尊い経験になりました。思い切った瞬間もたくさん見ることができ、これこそ信頼から成り立つものだと思えました。私たち三組は、これからも目標に向かって、成長し続けていきますので、応援よろしくお願いします。



クラスTは宝

4組

蛭子 航樹
廣島 唯楓
くん

この前、ついにクラスTシャツが届きました。四、五月ころからずっと話し合い続けて、やっとデザインが決まったので、達成感とうれしい気持ちでいっぱいになりました。届いたその日に、球技大会でみんなが着ました。そうすると、みんな一緒だという団結力と、一年四組というクラスを背負っているという責任感を感じる事ができました。クラスTシャツを着るだけで、このような気持ちが出ていくもの自分より、技量が上がったり、粘り強くなる事ができたと感じました。これは、クラスみんなが同じように感じたんじゃないかと思えます。



クラスTシャツ紹介の予告

十月五日（水）に体育大会が行われます。体育大会でもクラスTシャツを着用して競技します。学年通信で、体育大会特集をする際には、各クラスの人に、クラスTシャツのデザインについて紹介してもらう予定です。

5組のクラスメイト紹介

5組

後藤 美温
福本 愛
さん

私たちのクラス、一年五組は個性の強い人がたくさん集まっています。そんな五組のクラスメイトを紹介します。明るい上岡さん 万能な内田くん 足速い浦川さん Tシャツが面白い大隅さん 器用な荻野さん ビスケットの鏡くん ピカチュウの川崎さん 筆記体の岸本さん PCの熊橋くん 料理の後藤さん 天然なかもしれない末政くん みんなの辞書竹中さん Francieの坪田くん あずきバーの田路くん 楽しそうな中井くん ポケモンの中島くん 人脈広い西脇さん おはよう長谷川さん 鳥好き原田さん おしゃれ代表春國さん ムードメーカー日野さん 笑顔な福田さん 笑神様福田くん 女子力の福本さん 無敵の藤本さん 夜九時までの松田さん 天然ワールド丸山さん 雨の日は車の宮地さん センスの塊森田くん 平均点あげる安川さん 和菓子の山下くん なんでもできる山本さん 食虫食物米本くんです。

個性溢れる五組は、テストで点が良くても平均点が高すぎて喜べないことがあります。共に過ごすうちに、すぐくノリがよくて、勉強できる環境が整った最高のクラスだと感じました。これからはもっと楽しみます！



夏季補習

夏休みに入りました。どこの高校でも同じですが、附属でも前期と後期の補習があります。補習の期間を除くと、実質三週間ほどのお休みです。さて、前期補習の数学（四・五組は希望）と国語は全員が対象です。英語は基礎と標準に分けて、希望者対象となっています。希望者ではありませんが、基礎と標準を合わせると、百二十三名にもなりました。また、五組の全員を対象に化学の補習も行われます。後期補習は、国語だけが指名補習で、数学と英語は希望者対象です。数学も英語も基礎と標準に分かれて実施されますが、数学も英語もどちらも百名ほどの人が受講します。希望補習の申し込みの多さには、29回生の意欲の高さが表れている気がします。

○前期補習 七月二十一日（木）～二十九日（金） 七日間

国語・数学 対象者 全員

化学 対象者 基礎クラスと標準クラスの希望者

○後期補習 八月十九日（金）～二十六日（金） 六日間

数学・英語 対象者 基礎クラスと標準クラスの希望者

国語 対象者 指名された人

読書感想文の提出

夏休みの課題が各教科から出ていますが、図書係からも課題が出ています。夏休み恒例の読書感想文です。小学生の時から書き続けてきた読書感想文の課題は、あと今年と来年の二回だけです。どんな本でもかまいませんから、しっかりと読んで書きましょう。本を読んだことで気づいたこと考えたこと。驚きや、自分らしく思考を深めることができれば、優れた感想文になります。昨年は、附属高校から二名の先輩が、西播の最優秀賞を受賞するという快挙を達成し、兵庫県の審査に進んでいます。今年は、29回生のみなさんの中から、優秀賞や最優秀賞を受賞する感想文が出てくることを期待しています。

感想文の要項

提出は、八月三十日（火）。
四百字詰A4版原稿用紙を用いて五枚書きます。四枚でも六枚でもいけません。一行目から本文とし、クラス・番号・名前は右側の余白に書いて、最後のページの欄外に読んだ本、著者、出版社を記入します。読む本は自由です。今年度の課題図書を紹介していただきますので、読む本に迷うようでしたら参考にしてください。

- 『その扉をたたく音』（集英社） 著者 瀬尾まいこ
 - 『建築家になりたい君へ』（河出書房） 著者 隈研吾
 - 『クジラの骨と僕らの未来』（理論社） 著者 中村玄
- ※課題図書以外の読書感想文は、表彰されやすいと言われています。

全統記述模試の実施

八月に全統模試が行われます。受験希望は、十五日まで締め切りでしたが、四十一人の人から申し込みがありました。全統模試は、河合塾という予備校が実施する全国模試です。大学共通テストをモデルとする模試ですので、できなかったところは復習しましょう。模試でできなかったところが弱点ですから、その弱点を補強するわけです。

実施場所 視聴覚教室
実施日時 八月二十五日（木）八時三十五分～十四時まで
実施教科 英語・数学・国語の三教科

7月以降の行事予定（1年生関連）

7月	
21日（木）	夏季休業開始 三者面談・補習開始～29日
8月	
10日（水）	サイエンスツアー
11日（木）	山の日 寮生完全帰省開始～15日
19日（金）	後期補習開始～26日
20日（土）	オープンハイスクール
25日（木）	全統記述模試（希望者）
29日（月）	夏季休業終了
30日（火）	①SHR・大掃除 ②LHR ③課題考査（英語） ④課題考査（数学） ⑤課題考査（国語） ⑥課題考査（物理/生物）
31日（水）	平常授業 ⑦LHR
9月	
8日（木）	寮生集会、寮役員選出
16日（金）	防災教育出前授業（7限）



